

第3回 自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム インフラ分科会会合 議事要旨

日時：令和7年12月5日（金）14：30～15：30

場所：対面・オンライン併用

参加者：約80名

【議事】

1. ケーススタディ結果について（速報）
2. ケーススタディ（拠点）について

【主な意見等】

■ケーススタディ結果について

○ケーススタディでの試算は、コンソーシアムでどう活用されていくのか。

→東京-大阪でおおよそどれくらいの事業費が必要であるのかを確認し、事業性の検討につなげたい。

○試算にあたっては、条件を仮定したりした部分もある。

→今後のヒアリングを通じ条件等を精査していきたい。

○次のインフラ分科会では、ケーススタディの結果を公表するスケジュールか。

→次回の合同コンソーシアムで共有できるよう、ヒアリング等による精査を進めたい。

■ケーススタディ（拠点）について

○大前提として拠点の中で搬送機器から積み替え、トラックに積み込む機器の能力についてはオペレーション分科会で議論するものと思っていたが、インフラ分科会で検討していくという認識か。

→例えばオペレーション分科会の構成員と協力していただくなど拠点の中の処理能力と、拠点の整備費について複数社の共同による試算が必要と思っている。処理能力については今回は仮定して試算をお願いしたい。

■その他

- 今回の試算は、積み替えの施設の拠点だと認識しているが、インフラのメンテナンスのための拠点が必要ではないかと考えている。
また、無人でメンテナンスしていく必要があると思う。
- 技術開発の必要性も含めメンテナンスをどうするかは課題であると認識している。